

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	1 年	2	選択
担当教員			
下山 寿子			
C (商学部)	L (基礎科目)	HC (人間と文化)	101 (基礎・入門科目)

授業のねらい（概要）	本講義は、「人間の心を科学するということはどういうことか」というテーマのもとに、心理学の基礎的知識や理論を学習することを目的とする。授業の概要としては、（１）人はどのように知覚し、学習し、記憶しているのか、（２）人はどのように発達しているのか、（３）人格はどのように誕生し、病み、傷つき、変容していくのかなど人間の心のあり方について考える。
授業計画	第1回 【遠隔】オリエンテーション 授業目標・成績評価の方法等／シラバスを熟読 予習（時間）：シラバスを読む。（30） 復習（時間）：シラバスを読み、授業目標、進め方、成績評価の方法等を確認する。（30） 第2回 【遠隔】「心理学」とは何か／心理学の誕生と発展、心理学はどういう学問か 予習（時間）：レポート課題1に取り組む。教科書・第1章を読む。（210） 復習（時間）：授業ノートや配付資料を中心に授業内容を復習する。（120） 第3回 【遠隔】「学習」ということ／学習の諸理論、古典的条件付け、オペラント条件付け 予習（時間）：教科書・第2章を読む。（210） 復習（時間）：授業ノートや配付資料を中心に授業内容を復習する。（120） 第4回 【遠隔】「知覚」の働き／知覚するとは、錯視、知覚の主観性 予習（時間）：教科書・第3章を読む。（120） 復習（時間）：授業ノートや配付資料を中心に授業内容を復習する。（120） 第5回 「認知」と「記憶」のメカニズム／記憶のプロセス・変容、忘却の原理 予習（時間）：教科書・第4章を読む。（120） 復習（時間）：授業ノートや配付資料を中心に授業内容を復習する。（120） 第6回 「社会」と「個人」／社会と個人のかかわり、社会的役割 予習（時間）：教科書・第5章を読む。レポート課題2に取り組む。（210） 復習（時間）：授業ノートや配付資料を中心に授業内容を復習する。（120） 第7回 【課題】「人格」の理解／自己概念、人格の理解の方法（類型論・特性論） 予習（時間）：教科書・第6章を読む。（120） 復習（時間）：授業ノートや配付資料を中心に授業内容を復習する。（120） 第8回 「発達」の理論／遺伝か環境か、愛着理論、ピアジェの発達理論 予習（時間）：教科書・第7章を読む。（120） 復習（時間）：授業ノートや配付資料を中心に授業内容を復習する。（120） 第9回 「発達」の意味／思春期・青年期のもつ意味、エリクソンの理論、アイデンティティの危機と探求 予習（時間）：教科書・第8章を読む。配付資料を読む。レポート課題3に取り組む。（210） 復習（時間）：授業ノートや配付資料を中心に授業内容を復習する。（120） 第10回 【課題】「心」の有り様／心のメカニズム、コンプレックスとは何か 予習（時間）：教科書・第9章を読む。（120） 復習（時間）：授業ノートや配付資料を中心に授業内容を復習する。（120） 第11回 「心」の理論／フロイト・ユングの理論 予習（時間）：教科書・第10章を読む。（120） 復習（時間）：授業ノートや配付資料を中心に授業内容を復習する。（120） 第12回 「心」の危機／防衛機制、精神障害（神経症、人格障害） 予習（時間）：教科書・第11章を読む。（120） 復習（時間）：授業ノートや配付資料を中心に授業内容を復習する。（120） 第13回 【課題】「心」と「健康」／心の健康を保つとは 予習（時間）：教科書・第12章を読む。配布資料を読む。（120） 復習（時間）：授業ノートや配付資料を中心に授業内容を復習する。（120） 第14回 「心理療法」の実践／交流分析、行動療法、芸術療法（箱庭・コラージュ）、来談者中心療法、フォーカシング 予習（時間）：配付資料を読む。（120） 復習（時間）：授業ノートや配付資料を中心に授業内容を復習する。（120） 第15回 全体のまとめ／心理と行動、今何が問題なのかについての総括 予習（時間）：配付資料を読む。講義内容をふりかえり、疑問点等についてまとめる。最終レポートの準備をする。（210） 復習（時間）：授業ノートや配付資料を中心に授業内容を復習する。最終レポートの準備をする。（60）
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	商学部 1. 職業人的倫理観を持ち、組織で協働できる能力 【身に付くスキル】 職業倫理感・協働力
到達目標	（１）心理学とは何か、理解し、説明できる。（２）心理学の専門用語を理解し、説明できる。（３）知覚・学習・記憶・発達・人格等の概念が説明できる。（４）心理学者のピアジェ、フロイト、ユングなどについて説明できる。（５）心理療法理論を理解し、来談者に対する態度やスキルを説明できる。

課題や小テスト等のフィードバックの方法	・提出課題等については、添削等を行い指導・助言し必要に応じて返却する。 ・小テストについては、原則として毎回の授業ごとに行い、授業内に解答を示し、必要に応じて解説し回収する。
履修上の注意	・基本的には講義形式を中心とするが、テーマによっては演習やグループ学習などを導入する場合もある。 ・プリント教材を多く用いるので当該科目独自のファイルを作成すること。 ・シラバスを参考に配布資料や教科書などの予習・復習を行うこと。
成績評価の方法・基準	到達目標に掲げた項目を身に付けたかどうかについて、試験やレポートを通じて確認する。また最後のまとめにかかわる試験あるいはレポートによって総合評価を行う。最終レポート(定期試験として)60%、授業内レポート30%、学修意欲10%。
教科書	書名：はじめての心理学 著者名：氏原寛・松島恭子・千原雅代編 出版社：創元社 価格：2300円
参考書・教材	【参考書】 授業時に適宜紹介をする。 【教材】 配付資料
備考	講義科目／実務家教員による授業 2020年度は、7、10、13回を課題研究として学修する。第7回「『私』とは何か」、第10回「『育つ』ということはどういうことか」、第13回「『悩む』ということはどういうことか」についてそれぞれ具体的なテーマを設定し、資料等を調査し文章を作成し、レポート形式で提出すること。800～1200字程度をめどとする。第7、10、13回のそれぞれにおいて、全体で330分の学修を想定している。 「定期試験」は「最終レポート」である。実施方法の詳細と評価規準は第1回授業において概要を授業等において告知する。
教員との連絡方法	オフィスアワー